

マレーシアにおけるコールドチェーン普及啓発セミナー
宿利会長開会挨拶

マレーシアの皆様、日本の皆様、こんにちは。運輸総合研究所（JTTRI）会長の宿利正史です。本日は、このセミナーに多くの皆様にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

まず、挨拶に先立ちまして、昨年12月にマレーシアで発生しました大雨による洪水の被害にあわれた皆様に対し、心からお見舞いを申し上げます。また、被災地の速やかな復旧・復興をお祈り申し上げます。

さて、はじめに、本日のセミナーの開催にあたりまして多大なご協力・ご支援を頂きました Rosbi（ロスビ）局長をはじめマレーシア運輸省の皆様及び寺田公共交通・物流政策審議官をはじめ国土交通省の皆様に対し、心より感謝申し上げます。また、マレーシアをはじめとして ASEAN 地域及び日本の物流関係の皆様にご参加いただき、ありがとうございます。

運輸総合研究所は、1968年に当時の運輸省、経済界及び学界の支援により発足した運輸交通政策のシンクタンクです。発足以来、1991年に米国ワシントン D.C. にワシントン国際問題研究所（JITTI）を設立して北米地域との連携を強化するなど、欧米・アジア諸国を含め海外の交通運輸及び観光に関する研究調査や情報収集、外国政府や国際機関との交流・連携などの国際活動に力を入れてまいりました。

昨年4月1日には、日本との結び付きが強い東南アジア及び南アジア地域において、交通運輸及び観光分野における交流・連携を強化するため、アセアン・インド地域事務所、我々は略称として AIRO と呼んでおりますが、これをタイのバンコクに開設しました。当研究所としては、今般の AIRO の開設を機に、マレーシアをはじめとする ASEAN 地域や南アジア地域の皆様とこれまで以上に緊密に交流し、より大きな貢献を行っていきたいと思っています。

具体的には、これらの地域における研究調査や情報収集とともに、各国の政府・事業者・学界等の多様な皆様への有益な情報発信やセミナー、シンポ

ジウム等の開催を行っていきます。今後、各国・各地域のニーズを踏まえたきめ細かな活動を通じて、多様な皆様との強い信頼関係に基づいた協力・連携関係を構築して、「世の中の役に立つ」、「使い物になる」貢献を行うことに取り組んでいく所存です。

さて、さきほど寺田審議官のご挨拶でご紹介がありました、コールドチェーン物流サービス規格 JSA-S1004 の ASEAN 地域における普及を図るためには、この規格に基づいて円滑かつ公平な審査がなされ、認証を行うことができる体制を整備することが必要です。そこで、当研究所では、国土交通省及び関係業界・学界の皆様と緊密に連携して、本日基調講演をしていただく森隆行流通科学大学名誉教授を座長とする検討委員会を設け、2020年から精力的に検討を進めてきました。その成果として、当研究所は、認証機関が実施すべき審査手続や審査の際に確認すべき事項を分かりやすくまとめた「JSA-S1004 認証審査ガイドライン」を2021年3月に策定・公表いたしました。この審査ガイドラインは、2021年11月に開催された日 ASEAN 交通大臣会合において承認されておりますので、今後マレーシアをはじめ ASEAN 地域の認証機関の皆様にご活用いただきたいと考えております。

最後になりますが、本日のセミナーが、ご参加いただきました多くの皆様、とりわけ、マレーシアの政府、荷主、物流事業者、認証機関の皆様にとりまして、真に有意義なものとなり、課題解決の一助となりますことを、祈念しております。

本日は誠にありがとうございます。